



# 絆 きずな

## 図書館ボランティアだより

第9号

2011年2月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行

### 目次

図書館を利用して ご存知ですか	「私にとっての図書館」 「返却予定」	… P 2
私のおすすめ	「館内装飾」	… P 2
	『チーム』 『哇つきアーニャの真っ赤な真実』	… P 3
	『がんばれ機関車トーマス』	… P 3
図書館からのお知らせ		… P 4

### ありがとう！図書館フレンズ

図書館ボランティア主担当者として市民のみなさまとかかわりはじめたのは、2004年の事でした。前年度は試行でしたが、20名の登録者で年間延べ参加者数はたったの155名。あまり図書館の助けになっているとはいえない数字です。（お一人年間8回弱）主担当者になった時、これではいけない、何とかもっと来ていただけないものかと正直思いました。

それで私が始めたのは、とにかく来て下さった時にこちらから明るく挨拶をすること。気候の話でも、雑談のような話でも、一言明るく話しかけて、気持ち良くボランティアしていただける環境を作り出すこと。来て下さって本当に助かっています。ありがとうございます！という感謝の気持ちを、ボランティアを終えて帰られる時には必ず心をこめて伝える事。

たったそれだけの事ですが、一生懸命頑張って声をかけ続けました。（私、実は少し暗い性格だったのですが、図書館フレンズ担当をするようになってから、すっかり明るい性格に変わりました。）その結果、2004年度には28名の登録者で前年の4.4倍の延べ682名ものご参加をいただきました。それから毎年、登録者数も延べ参加者数も増え続け、昨年2009年度は75名の登録で年間延べ2444名にもなりました。お一人年間32.5日来て下さった事になります。月平均200名以上も来ていただける日が来るとは、2004年に初めて担当した時には夢にも思っておりませんでした。なんと初年度の15.8倍です。活動内容も最初は配架（休館翌日・月末整理日のみ）、修理・装備、館内装飾、リサイクルだけだったのが、配架は開館日全部になり、修理・装備の作業内容に本の清拭を追加し、書庫入れ作業と広報が新たに加わり、リサイクルの印押しも除籍雑誌だけだったのが、除籍図書印押し作業が増え、本当に多岐にわたって図書館をサポートしていただいております。この「絆 図書館ボランティアだより」だって広報の皆様の労作です。ものすごい市民パワーを感じつつ、日々図書館フレンズの皆様に感謝しています。阪南市立図書館は、図書館でボランティアして下さる方々に支えられて頑張っております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。廣瀬まゆみ

(阪南市立図書館)

図書館で本を借りると二週間後には返却しなければならぬ。本により、又、本人の読書にかける時間のありようで期日までに終了出来ない本もありますが、期日がある事により心の持ち方は天と地程違うのです。

図書館の催しの一つ、年に何回かあるリサイクルの本を賣ったとしたら、いつでも読める安心感から一度も開けない本も出て来る。

人間の生命の返却予定日は、本人が知らないだけで、きっとあるのでは？

家族も友人もまわりの人々も少しづつ返却予定が近づいているとしたら「又、今度」は二度と来ないかもしれない。

何事も思い立ったが吉日で、今す・ぐ・に・  
ところで、あなたの返却予定日は？

## 図書館を利用して



門脇容子

「絆」第八号の一面には二〇一〇年阪南市立図書館の貸出冊数が十一位であったことが報告されている。この数字は図書館員の努力の賜物であると同時に、いかに図書館が市民に親しまれ、なくてはならない施設になっているかを示している。

阪南町から阪南市に移行する時、図書館が建設されることがわかり、読書友の会、文庫連絡会、あたご幼稚園のお母さんたちが一つになり、要望書を何度も役所に提出した。担当者の一人が「そんなに利用者がいるのかなあ」と呟いた声を忘れることができない。小ホールのために最初の計画より図書館スペースが削られ、狭くなったのは今でも残念でたまらない。これだけ市民に利用されている図書館は、税金をもう一度市民に還元していると考えられる施設でもある。

いつ行っても迎えてくれるたくさんの本と笑顔の図書館員、私にとっての図書館はどこよりもワクワクする心踊る場所である。

黒見泰子

## 館内装飾

### 《ご存知ですか》

館内装飾で児童コーナーの壁面を担当しています。子どもたちにインパクトが残るように、本の紹介をかねて作品を描き、季節を感じてもらえるようにとガラス面には貼絵をしています。

作品では、最初はぎこちないタッチで描いていた線も今ではパステルを使ってぼかしたり、テッシュを使って色を伸ばし、やわらかみのある雰囲気を出したりと素人ながら苦戦しております。

担当する4人は、もう少し子育て、子育て卒業とさまざまですが、子どもたちが本に向かう姿に胸をふくらませながら活動しています。

辻 昭子

『チーム』

堂場瞬一 / 著 光実業之日本社 Fドウ

正月のTV番組は面白くないのでほとんど見ないという人が多く、私も同じくだが、箱根駅伝だけは毎年見ている。この大会には早稲田、東洋、駒沢などの強豪と並んで毎回「全学連選抜」というチームが出場する。これはチームとしては予選を通過できなかったものの、各大学には個人的に優れた選手がたくさんいる。これらの選手を集めたチームで、よい成績が出て不思議ではないのだが、いつもあまりひるわない。

この「チーム」という小説は、学連選抜チームが非常に健闘する内容で、警察小説とスポーツ小説という異色の組み合わせでたくさん本を出している堂場瞬一の作品である。この寄せ集めチームで、前の年に期待されながら途中棄権してしまつた選手がキャプテンを務めさせられる。このキャプテンの苦勞と、チームではお互いの信頼感、チームワークというものがいかに必要かということ監督とキャプテンの目を通して描いた久しぶりに感動した小説である。

OISAM

私のおすすめ



アーニャは嘘つき。誇大表現で周囲は翻弄されます。でもなぜか憎めないのは友だち思いの優しいところがあるから。

一九六〇年、作者は九歳から一四歳まで「在プラハ・ソビエト学校」で学びます。三人の同級生ルーマニア人のアーニャ、ギリシヤ人のリツツア、ユーゴスラビア人のヤスミンカは子どもながらに祖国に対して愛情と誇りを持っています。

折しも東欧は「プラハの春」「チエコ事件」と激動の時代を迎え、彼女たちとの音信も途絶えてしまいます。年数を経て三人を捜す旅に出、彼女たちの波乱に満ちた運命と少女時代には知り得なかった真実に出会います。

自国を愛する心は誰もが持っているものです。しかしそれが民族間の紛争の種になることもあります。私たちに求められているものは「具体的に生きる誰か」に対する想像力と隣人を思いやる気持ちである。と作者は偏向なナシヨナリズムを持つ危険性に警鐘を鳴らしています。

森本めぐみ

〈子どもの本〉

『がんばれ機関車トーマス』 ウィルバート・オードリー / 著 レジナルド・ダルビー / 画

桑原三郎・清水周裕 / 訳 ポプラ社 EG

幼児にとっても手に持ちやすい大きさ（厚さも）の本です。トーマスの顔が良いし、蒸気をあげているところが孫のお気に入りです。自分でシュツシュツポッポと立ちあがって身体で表現します。ページがめくりやすく、あきずに繰り返す、ひざの上でめくっています。私もトーマス、ヘンリーと言って指さしをしてよみます。日本では1973年にはじめて出版され、26冊の「汽車のえほん」シリーズの1冊です。男児の大好きな本です。バスや自動車の写真本と同じ様に手渡して欲しいです。2005年に新装改訂されましたので字も大きくなり、カラーのトーマスも表情がかわいいですよ！

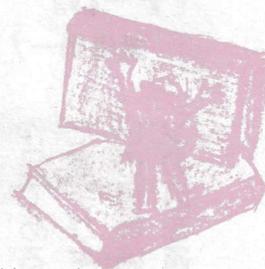
加藤和子



# 図書館でボランティアしませんか？

～平成23年度～

## 図書館フレンズ募集



老後・退職後に何か社会の役に立ちたいと思っている方、もう子どもの手も離れて、時間があるから何かしたいという方、学生時代にボランティアをしたい方、図書館フレンズとして活動してみませんか？はじめての方も大歓迎。誰でもできる簡単な作業から、才能を生かせる作業までいろいろあります。

主な作業は、返却本を書棚・書庫に戻す作業、本の修理・清拭、児童コーナーのコルクボードへの装飾作成、リサイクル関連、広報関連等です。詳しい作業内容や時間は、「図書館フレンズ作業内容」のチラシでご覧下さい。下記の説明会で詳しく紹介した後、登録していただきますので、興味をもたれた方は、説明会への参加申し込みをしてください。

説明会日時：3月26日(木) 13:30～14:30

場 所：サラダホール2階・視聴覚室

申込期間：3月1日(日)～3月24日(火) 開館時間中 (電話申込可)



\* 無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。

\* ボランティア保険加入予定です。

\* この説明会は、新規の方(阪南市に在住・在勤・在学の方)が対象です。



お問い合わせは

阪南市立図書館

電話072-471-9000

図書館フレンズ担当まで

### おはなしボランティアに興味をお持ちの方へ

「おはなし会」で子どもたちと絵本の世界をたのしんでみませんか？

4月から5回連続「楽しい読み聞かせ講座」がはじまります。講座を聞いてステップアップすれば、図書館のおはなし会で絵本を読んでもみる事にもチャレンジできます。(強制ではありません。)

この機会にチャレンジして、ご自分の新しい可能性を見つけてみませんか？

「楽しい読み聞かせ講座 ～絵本入門から読み聞かせボランティアまで～」

絵本の奥深さを知り、子どもを楽しませるときのコツを学びましょう。3歳から小学校低学年向けの絵本を中心に紹介し、④⑤では集団への読み聞かせのノウハウを伝授します。

日時 ①4月12日(火)、②19日(火)、③26日(火)、④5月17日(火)、⑤24日(火)

午前10時30分～12時

場所 サラダホール2階視聴覚室 参加費 無料 定員 先着20名

申込み 3月7日(月)10時から図書館で受付(電話可)